

ことば

# 詩と音が 恋心をして

なぜか運がよくなるコンサートって言われています  
杉田博子ソプラノ リサイタル



Pf 平沢匡朗



Sop. 杉田博子

## 楽曲予定

J.S.Bach: 羊は安らかに草を食む  
F.Schubert: ます  
F.Schubert: 春の信仰  
F.Mendelssohn: 歌の翼に  
R.Strauss: 明日に

中田喜直 ゆく春  
さくら横丁  
山田耕筰編曲 さくらさくら  
山田耕筰 野薔薇  
からたちの花  
その他

\*演奏予定曲目は変更の場合がございます

4/13(土)  
2024

◆開場 13:30 開演 14:00  
◆甲府市総合市民会館・芸術ホール  
◆チケット 3,000円 (全席自由)

- ◆主催: やまなし大使杉田博子歌声の集い実行委員会
- ◆後援: 山梨日日新聞社・山梨放送・UTY テレビ山梨・FM 甲府  
甲府市総合市民会館芸術ホール・山梨英和学院中学高校同窓会  
甲府 21 ワイズメンズクラブ・NPO 法人甲府駅北口まちづくり委員会
- ◆詳しくは 杉田博子歌声の集い ホームページまで  
<http://kofu21.com/sugitahiroko2024/>
- ◆お問合せ 055-222-5187 ムジカ・グレイス



ことば

# 詩と音が恋をして

2024.04.13

杉田博子ソプラノ リサイタル

平沢 匡朗 (ピアノ) Hirasawa Masaaki

桐朋学園大学卒業。福元さざれ、中山 靖子、渡邊康雄、デートレフ・クラウスの各氏に師事。GPAダブリン国際ピアノコンクール特別賞受賞。各地よりピアノ協奏曲のソリストとして招かれたほか、ダブリン、ウィーン、東京など国内外においてのピアノリサイタル、NHK・FM『FMリサイタル』などの放送出演など、独奏者として幅広く活動している。また、室内楽奏者としても、イヴリー・ギトリス、トーマス・フェオドロフ、カリン・アダム、マルタ・カーデム＝ミサク、水島 愛子 (バイエルン放送交響楽団元奏者)、木野 雅之、天満 敦子、等のヴァイオリニスト、宮原 卓也、原田 茂生他多数の声楽家と共演。

1996年より《Allegro Vivo・オーストリア国際室内楽音楽祭》に参加、22年にわたり音楽祭のコレペティトゥーア (公式伴奏者) として活動、多数のヨーロッパ若手演奏家と共演しており、その経験から得た独奏者として独自の解釈と視点による、モーツァルト、ベートーヴェン等ウィーン古典派音楽の演奏には定評がある。これまで発表した主なCDに『アルト ウィーン / 平沢匡朗 ロマンティックアルバム (1999年)』 / 『平沢匡朗 プレイズ モーツァルト (2006年9月レコード芸術誌準推薦)』 / 『平沢匡朗 プレイズ ベートーヴェン (2007年)』等があり、いずれも好評を得ている。

また、チェンバロ奏者として2011年9月には日本フィルハーモニー交響楽団とバッハのブランデンブルク協奏曲第5番を演奏、2015年12月および2018年9月22日には、バッハのゴールドベルク変奏曲全曲によるコンサートを開催する。また指揮者としても各地で、ピアノ、指揮の2役によるモーツァルトのピアノ協奏曲の演奏会などを行っている。

現在、愛知県立芸術大学および洗足学園音楽大学で後進の指導にあたっている。

杉田 博子 (ソプラノ) Sugita Hiroko

洗足学園大学音楽部声楽科首席卒業。国内留学生として同大学ドイツ歌曲研究員終了。日本音楽コンクール入賞。第55回読売新人演奏家に出演し御前演奏をする。卒業後ドイツに渡り、国立シュトゥットガルト音楽大学教授ロバート・ヒラー氏のもとで学ぶ。

リート歌手として数多くの演奏会に出演。

モーツァルト、シューベルト、シュトラウスを得意とする。日本歌曲も積極的に取り上げ、幅広いレパートリーを持ち魅力的な声とともに、その演奏は好評を博してきた。オペラではモーツァルト作曲『フィガロの結婚』スザンナ、『魔笛』パパゲーナなどを演じている。07年3月、ウィーン楽友協会のインターナショナルコンサートにおいてシューマン等を演奏しウィーンの聴衆を魅了した。

17年11月に山梨県知事より社会福祉功労者県知事賞を受ける。16年2月に山梨県笛吹市より社会福祉功労賞を、同年11月に山梨県より福祉功労賞受賞。これまでに、小中高の学校音楽鑑賞教室、各施設や病院で音楽を活かした治療の支援やコンサート、災害復興チャリティコンサートを数多く重ねてきた。声楽を(故)中山悌一、岡崎實俊、永井和子の各氏に、リート演奏法をロバート・ヒラー氏に、(故)E. アンドレアス C. ヒメル各氏に師事。日本声楽家協会会員。23年よりやまなし大使に選ばれる。



2023.12 発売CD  
からたちの花  
杉田博子S 平沢匡朗Pf



YAMANASHI

やまなし大使 就任

## 詩と音が恋をして

私の好きなおたまじゃくし(♪♪♪)の上に、ハイネ・ゲーテ・ギルム・リュッケルト・アイヒェンドルフetc.などの詩が書かれた楽譜に出会ったのがこの道の始まり。その詩人たちの編んだ詩(ことば)に、美しい旋律が譜された作品を目にし、耳にし、魅せられた。その日から強く想い信じて進んだのがこの道。それがドイツリート(ドイツ歌曲)との出会いで歩いてきた道。

魅せられたドイツリートは、詩(ことば)と音楽が寄り添いあい、お互いに感応しながらひとつに融合し芸術として開花した曲たち。

オペラが作り上げる大スケールの世界とは対照的に歌とピアノが織りなす繊細で小さな世界。そこは人間の深い精神と感情が無限の広がりを持つ小宇宙があると感じている。

杉田博子